

公開資料一覧

(2025年2月公開開始分)

資料群コード	資料群名	点数
--------	------	----

詳細1

B010009-001	名古屋市七所社資料	5
-------------	-----------	---

●七所社は同社に祀られている鏡に元慶8年（884）の銘があることからこの頃の創建と考えられている。現在同社の祭礼として行われている「きねこさ祭（名古屋市無形民俗文化財）」は、毎年旧暦の1月17日に厄除け、子孫繁栄、天下太平、五穀豊穰などを祈念して行われ、特に厄除けに靈験があると伝えられている。祭りのなかで唱えられる種下ろしの祭文、祭りの絵図などが現存し、注目される。 ●県史収集分のみを掲載している。箱番01は中世史部会、織豊部会調査分、箱番02は近世史部会調査分。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

B010012-001	名古屋市海隣寺文書	4
-------------	-----------	---

●名古屋市南区の清涼山海隣寺が所蔵する資料。真慧下付の方便法身像裏書、真慧書状等。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

B010014-001	名古屋市地藏寺文書	3
-------------	-----------	---

●名古屋市天白区の古厩山地蔵寺（島田地蔵寺）が所蔵する資料。越前永平寺の樵山和尚により、嘉吉2年（1442）に島田山広徳院として創建されたと伝える。延徳3年（1491）の水害により、坊舎・田畑が流されるが、明応9年（1500）、鳴海瑞祥寺の秀建和尚により再建、地藏寺と改名したという。愛知県史では天正19年（1591）成立と思われる縁起、開山に関する系図などを収集。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、地藏寺へお問い合わせ下さい。

資料群コード 資料群名 点数

詳細1

B010022-001 名古屋市法輪寺文書 205

●名古屋市守山区の仏日山法輪寺が所蔵する鎌倉～南北朝期書写の大般若経。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

B010026-001 名古屋市龍珠寺文書 1

●名古屋市熱田区の臨済山龍珠寺が所蔵する資料。龍珠寺は、永正年間（1504～21）に南溟紹化を開山とし、加藤延隆により龍珠庵が建立され、天文1年（1532）に龍珠寺と号す。開山南溟紹化、加藤氏の画像などを所蔵。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

B010027-001 名古屋市笠覆寺文書 76

●名古屋市南区の天林山笠覆寺（笠寺観音）が所蔵する資料。天平年間（729～49）の創建というが、後に荒廃し、延長年間（923～31）、雨露にさらされた観音像に笠をかぶせた女が太政大臣藤原兼平の妻となったことから、兼平が寺を再興し、笠寺と称したという。再び寺が荒れ果てたため、嘉禎4年（1238）、勸進僧阿願は笠寺の再興に尽力し、荒野3町余の寄進を受け、堂塔を建立したと伝える。当寺に残る勸進帳から室町後期にも伽藍の整備がなされたことがわかる。 ●鎌倉～江戸期の文書、鎌倉期の文書を取り込んで作成された縁起類などを所蔵。室町期の文書は「笠覆寺古記」と題された折本に貼り込まれている。 ●県史収集分のみを掲載している。箱番01は中世史部会、織豊部会調査分、箱番Aは近世史部会調査分。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

資料群コード 資料群名 点数

詳細1

B010054-001 蜷川親元日記 7

●室町幕府政所代蜷川親元の日記。親元は8代将軍足利義政・9代将軍義尚の時期に政所執事伊勢貞親・貞宗の下で活動した。残存する日記は寛正6年（1465）と文明5年（1473）、同9・10・13・15・17年の一部。将軍周辺の動向や主家伊勢家と諸方との贈答などの記事がある。 ●写本。「平戸藩蔵書」「子孫永宝」「楽歳堂図書記」の印が押されており、平戸松浦家の平戸藩楽歳堂文庫に所蔵されていたものと思われる。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

B100003-001 一宮市真清田神社文書 4

●一宮市真清田神社が所蔵する資料。真清田社は尾張国一宮。祭神は天火明命。「真清探桃集」によると、崇神天皇の頃に尾張氏が天火明命を祀って創建されたという。近世には朱印領333石を拝領する。 ●愛知県史では「真清田社縁起（真清田社古縁起）」と称される縁起を収集した。室町中期から後期にかけての書写と推定される。そのほか鎌倉期の舞楽面（重要文化財）を複数所有。『愛知県史 別編 文化財3』参照。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、真清田神社へお問い合わせ下さい。

B100006-001 一宮市龍光寺文書 141

●一宮市千秋町の金剛山龍光寺が所蔵する平安～室町期書写の大般若経。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●複写不可。資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

B110003-001 犬山市瑞泉寺文書 12

●犬山市犬山の青龍山瑞泉寺が所蔵する資料。瑞泉寺は応永22年（1415）、日峰宗舜により創建。歴代住持は順次京都妙心寺の住持となる。一時、衰退するが、戦国期に織田信長、豊臣秀吉により保護され、近世には歴代尾張藩主の黒印状を得て再び隆盛期を迎える。現在でも塔頭に龍泉院・龍濟寺・臨溪院・輝東寺・臥龍寺・妙喜寺を擁し、犬山市内でも最大規模の伽藍を有する。 ●古文書の他、住持の木像、絵画など多くの文化財を有する。『犬山市史料編三』参照。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

資料群コード 資料群名 点数

詳細1

B130002-001 稲沢市尾張大国霊神社文書 3

●大国霊神社は尾張国の総社であり、通称「国府宮」として知られる。旧暦1月13日に行われる「儼追（なおい）神事」ははだか祭として有名。室町初期の楼門、江戸初期の拝殿はともに重要文化財。文書のほかにも陶製狛犬や鉄造鈴など多くの文化財を所蔵。『新修稲沢市史 資料編七』参照。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

B130004-001 稲沢市長光寺文書 63

●稲沢市六角堂東町の興化山長光寺が所蔵する資料。長光寺は応保1年（1161）建立と伝えられ、はじめは法相宗に属していたが、のち臨済宗妙心寺派寺院となる。同寺の六角形の地藏堂は国の重要文化財にも指定される貴重な建築物であり、かつてはそれに因んで村名も六角堂村とされ、また祀られる地藏尊は、尾張六地藏の1つとして信仰をあつめた。近世においては、付与された寺領は10石程であった。『新修稲沢市史 資料編七 古代・中世』『同 資料編九 近世 寺社下』『稲沢市史資料 第四十一編 長光寺文書』参照。 ●県史収集分のみを掲載している。箱番01は織豊部会調査分、箱番02は近世史部会調査分。箱番02については稲沢市教育委員会が収集した複製資料をコピー収集し、公開にあたりデジタル化した。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、長光寺へお問い合わせ下さい。

B130006-001 稲沢市無量光院文書 2

●稲沢市中之庄町の中庄山満願寺無量光院が所蔵する資料。無量光院は天正年間（1573～92）に廃寺となった満願寺の子院の一つで、満願寺から移された本尊阿弥陀三尊像は鎌倉初期の作で重要文化財。ほかに貞治2年（1363）寄進の釈迦涅槃図、版本の大般若経などを所蔵。『愛知県史 別編 文化財2』『同3』参照。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、無量光院へお問い合わせ下さい。

B200005-001 個人所蔵資料① 2

●個人蔵。津島社関連の資料。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

資料群コード 資料群名 点数

詳細1

B300004-001 瀬戸市菱野熊野社文書 36

●瀬戸市東菱野町の菱野熊野社が所蔵する資料。永正14年（1517）をはじめとする棟札、廃寺となった東福寺旧蔵の大般若経などを所蔵。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●公的・学術目的に限り複写可。資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

B310001-001 春日井市教育委員会蔵林家文書 2095

●旧春日井郡上条（じょうじょう）村の豪農で、近世後期には地域の惣庄屋を務め、明治期には東春日井郡長を務めた林家に伝来した文書。春日井市教育委員会が所蔵する資料点数は約2,000点で、うち近世資料は約700点。歴代当主の中では金兵衛重勝が特に有名で、戊辰戦争では農兵草薙隊を組織し、明治9年（1876）には地租改正反対運動を指導した。大半は近代資料であるが、地方関係資料を多く含むほか、幕末・維新期の政治・経済に関わる資料も散見される。福沢諭吉との交流を示す書簡類や重勝の日記もある。資料の一部は『春日井市史』に収録されている。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、春日井市教育委員会の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

B320002-001 小牧市小松寺文書 24

●小牧市小松寺の愛藤山小松寺が所蔵する資料。小松寺は天平勝宝年間（749～57）創建と伝わる。承安3年（1173）に小松内大臣平重盛が改築・寺領寄進をし、小松寺となる。承久3年（1221）の承久の乱で堂坊は焼失し廃寺同様となるが、文明・応仁の乱（1467～77）後、再建される。しかし、天正12年（1584）の小牧・長久手の戦いで豊臣方の主陣地となり、堂坊・寺宝など再び焼失。文禄4年（1595）に豊臣秀吉から、元和7年（1621）に徳川義直から領地を与えられ、明暦3年（1657）に本堂再建。寺領約240石を有した。本堂は小牧市有形文化財。 ●愛知県史では織豊期の古文書を中心に収集した。「小牧・長久手合戦陣立図」からは着陣からの両軍の動き、長久手での対陣の状況などがわかる。『小牧叢書10 小松寺文書』参照。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

資料群コード

資料群名

点数

詳細1

B330004-001 尾張旭市良福寺文書

67

●尾張旭市印場元町の万安山良福寺が所蔵する資料。良福寺は治承年間（1177～81）に土岐頼政により建立されたと伝える。天正10年（1582）に織田信雄から寺領安堵されるが、同12年の小牧・長久手の戦いで荒廃、寛永8年（1631）、尾張藩主徳川義直が尾張政秀寺の槐山宗三を中興開山として入寺させ、再興される。槐山宗三像の胎内に納められていた織豊期の文書は、宗三が政秀寺から所持していたものと推察され、政秀寺・犬山瑞泉寺など尾張の妙心寺派寺院との関わりがうかがえ、貴重である。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

B420003-001 長久手市永見寺文書

1

●長久手市杵ノ洞の水福山永見寺が所蔵する資料。『長久手町史 資料編7 近世』参照。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

B530002-001 大府市延命寺文書

627

●大府市大東町の宝龍山延命寺が所蔵する資料。創建年次は不明。室町期には勅願寺となる。戦国期になると横根城主梶川氏、緒川城主水野氏の庇護を受け、その後も尾張藩から寺領を拝領するなど発展を遂げる。後奈良天皇下賜の勅額、古文書・聖教類など多数の文化財を所蔵。室町期書写の大般若経については『延命寺大般若経調査報告』参照。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

B540002-001 知多市慈雲寺文書

1

●知多市岡田の白華山慈雲寺が所蔵する資料。慈雲寺は観応1年（1350）、夢窓疎石を開山とし、一色範光により創建。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

資料群コード 資料群名 点数

詳細1

B540003-001 知多市如意寺文書 10

●知多市佐布里の雨宝山如意寺が所蔵する資料。明応7年（1498）の銘のある鰐口、明德1年（1390）～応永8年（1401）に及ぶ書写年紀をもつ大般若経などを所蔵。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

B580002-001 美浜町大御堂寺文書 60

●美浜町野間の鶴林山大御堂寺、通称、野間大坊が所蔵する資料。大御堂寺は天武天皇（672～86）の時代に「阿弥陀寺」として建立され、承暦年間（1077～81）に白河天皇の祈願寺として「大御堂寺」と称される。この地で謀殺された父、源義朝を供養するため、源頼朝が本尊を寄進し、七堂伽藍を造営する。豊臣氏や徳川氏の庇護も厚く繁栄を続け、信仰を集める。境内には義朝の墓、豊臣氏に敗れてこの地で自害した織田信孝の墓など重要な史跡も多く残されている。 ●尾張地方最古の建長2年（1250）の銘をもつ梵鐘、狩野探幽作「義朝最期図」「頼朝先考供養図」など多くの文化財を所蔵。『愛知県史 別編 文化財2』『同5』参照。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、大御堂寺へお問い合わせ下さい。

B600001-003 岡崎市美術博物館蔵旧河合村役場文書 292

●額田郡河合村は昭和30年（1955）2月1日に岡崎市に合併。 ●県史収集分のみを掲載している。 ●複写については、愛知県公文書館にて岡崎市美術博物館への申請が必要です。資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、岡崎市美術博物館の許諾が必要となります。手続き方法については、同館へお問い合わせ下さい。

B600001-004 岡崎市美術博物館蔵旧本宿村役場文書 4

●額田郡本宿村は昭和30年（1955）2月1日に岡崎市に合併。 ●県史収集分のみを掲載している。 ●複写については、愛知県公文書館にて岡崎市美術博物館への申請が必要です。資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、岡崎市美術博物館の許諾が必要となります。手続き方法については、同館へお問い合わせ下さい。

資料群コード 資料群名 点数

詳細1

B600001-005 岡崎市美術博物館蔵旧岩津村役場文書 165

●明治39年（1906）5月1日に岩津村・大樹寺村・細川村・奥殿村の4村が合併した額田郡岩津村は、昭和3年（1928）5月1日に町制を施行し岩津町となり、その後、同30年2月1日に岡崎市に合併。●県史収集分のみを掲載している。●複写については、愛知県公文書館にて岡崎市美術博物館への申請が必要です。資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、岡崎市美術博物館の許諾が必要となります。手続き方法については、同館へお問い合わせ下さい。

B600001-006 岡崎市美術博物館蔵旧六ツ美村役場文書 376

●額田郡六ツ美村は昭和33年（1958）10月15日に町制を施行し六ツ美町となり、その後、同37年10月15日に岡崎市に合併。●県史収集分のみを掲載している。●複写については、愛知県公文書館にて岡崎市美術博物館への申請が必要です。資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、岡崎市美術博物館の許諾が必要となります。手続き方法については、同館へお問い合わせ下さい。

B600001-007 岡崎市美術博物館蔵岡崎支所文書 3

●岡崎支所が所蔵していた資料。●県史収集分のみを掲載している。●複写については、愛知県公文書館にて岡崎市美術博物館への申請が必要です。資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、岡崎市美術博物館の許諾が必要となります。手続き方法については、同館へお問い合わせ下さい。

B600010-001 岡崎市総持尼寺文書 22

●総持尼寺は建保2年（1214）に順徳天皇皇女を開山として創建され、永仁4年（1296）に高師重の娘心妙が再興したという。文和4年（1355）の尼明阿寄進状が寺号の初見で、心妙創建、明阿再興とも考えられる。高氏・足利氏と関係の深い尼寺で、近世中期以降は公卿の子女が入寺した。創建時から明治8年（1875）まで尼寺。●永仁～文安の中世文書は岡崎市指定文化財。『新編岡崎市史6 史料 古代・中世』参照。●県史収集分のみを掲載している。箱番01は中世史部会調査分、箱番02は近世史部会調査分。箱番02については新編岡崎市史編さん時に収集した複製資料をコピー収集し、公開にあたりデジタル化した。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

資料群コード 資料群名 点数

詳細1

B600013-001 岡崎市鳥居家文書 25

●個人蔵。岡崎市内の旧庄屋文書。 ●県史収集分のみを掲載している。箱番01は織豊部会調査分、箱番02は近世史部会調査分。箱番02については新編岡崎市史編さん時に収集した複製資料をコピー収集し、公開にあたりデジタル化した。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

B620002-001 刈谷市泉正寺文書 2

●刈谷市東境町の寂静山泉正寺が所蔵する資料。泉正寺は正平7年（1352）、一遍の法孫が道場を建立、天正年間（1573～92）の和泉坊正阿弥の時に蓮如に帰依し、真宗に転じたという。寺号は和泉坊正阿弥よりとる。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、泉正寺へお問い合わせ下さい。

B630004-001 豊田市高月院文書 29

●豊田市松平町の本松山高月院が所蔵する資料。貞治6年（1367）に足助次郎重宗の子、重政（寛立上人）が松平郷主在原信重の庇護を受けて寂静寺として建立したと伝える。その後、松平氏の始祖である松平親氏が本尊阿弥陀仏をはじめ、堂・塔のすべてを寄進して、名称を高月院と改め、松平氏の最初の菩提寺となっている。江戸期には100石の朱印地を与えられ、明治維新まで手厚い保護を受ける。愛知県史では、戦国期の寄進状、江戸期の日鑑などを収集。『新修豊田市史』等参照。 ●県史収集分のみを掲載しており、箱番01は中世史部会調査分、箱番02は近世史部会調査分。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、高月院へお問い合わせ下さい。

B630007-001 豊田市六所神社文書 1

●豊田市坂上町の六所神社が所蔵する資料。神社の創建は永和3年（1377）、松平親氏が奥州塩竈六所明神を勧請したことによると伝える。永正17年（1520）に再興。大永7年（1527）に焼失する。再建のため奉加を募る造営奉加帳が現存し、安城松平家の松平長忠、信忠父子が奉加に加わったことがわかる。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

資料群コード 資料群名 点数

詳細1

B630008-001 豊田市和徳寺文書 1

●豊田市の和徳寺に伝来した資料。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●複写不可。資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

B650004-001 西尾市願成寺文書 8

●西尾市巨海町の海会山願成寺が所蔵する資料。願成寺は西条城主吉良氏による創建。愛知県史では徳川家康の寺領安堵状写や近世の妙心寺紀綱寮の請取状などを収集。ほかに木造釈迦如来坐像や2代住持可庵円慧の木像、塔銘牌などの多くの文化財を所蔵。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

B650005-001 西尾市実相寺釈迦三尊像胎内文書 16

●西尾市上町の瑞境山実相寺が所蔵する資料。実相寺は文永8年（1271）、吉良満氏が京都東福寺の円爾を開山として創建。吉良氏の菩提寺として発展する。 ●昭和40年（1965）と平成3～5年（1991～93）の本尊釈迦三尊像解体修理の際、願文、結縁交名などの胎内文書が発見された。これら胎内文書から、釈迦三尊像は貞治1年（1362）に西条吉良氏始祖の吉良満貞、実相寺第5世太山一元をはじめとする多くの結縁者の発願により造立されたことが判明した。『新編西尾市史 資料編2 古代・中世』参照。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。西尾市教育委員会寄託。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

資料群コード	資料群名	点数
--------	------	----

詳細1

B650006-001	西尾市養寿寺文書	23
-------------	----------	----

●西尾市下矢田町の亀休山養寿寺が所蔵する資料。大同1年（806）に弁財天堂から始まり、当初は天台宗であったが、寛正2年（1461）、彰空宗永が堂宇を再興し、浄土宗に改宗する。徳川家康の大叔母、吉良義安の夫人と伝わる矢田姫が埋葬されたことから、慶長7年（1602）、朱印地36石を与えられる。寛文年間（1661～73）に西尾城主土井利長が堂宇を再建。●彰空宗永書写の『太子伝』、応永2年（1395）在銘の雲版などを所蔵。愛知県史では書籍の奥書を中心に収集した。●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。●複写不可。資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、養寿寺へお問い合わせ下さい。

B651001-001	西尾市高須家文書	3
-------------	----------	---

●西尾市の高須家に伝来した資料。●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

B652002-001	西尾市正法寺文書	5
-------------	----------	---

●西尾市吉良町乙川の医王山正法寺が所蔵する資料。正法寺は暦応2年（1339）、足利尊氏が鳳来寺の僧を招いて再建したと伝える。●愛知県史では今川義元朱印状など戦国・織豊期の文書を収集した。『新編西尾市史 資料編2 古代・中世』参照。●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

B680002-001	みよし市医王寺文書	6
-------------	-----------	---

●みよし市三好町の瑠璃光山医王寺が所蔵する資料。平安期に真言宗の寺院として創建され、応仁2年（1468）、小野田久安が本堂を再建し、浄土宗に改宗したと伝える。15世紀後半の大般若経、小野田氏の系図等を所蔵。『史料が語る鎌倉・室町時代の三好』参照。●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。●複写不可。出版掲載不可。

資料群コード 資料群名 点数

詳細1

B690003-001 幸田町浄土寺文書 10

●浄土寺は弘仁年間（810～24）に山岳信仰の場として創建された天台宗の寺院。鎌倉時代には7つの坊からなる山岳寺院であったが、南城坊（現在の浄土寺）だけが今に伝わる。徳川將軍家の朱印状写等を所蔵。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

B700006-001 豊橋市太平寺文書 79

●豊橋市老津町の長松山太平寺が所蔵する資料。太平寺は真言宗寺院として嘉応年間（1169～71）に開創され、延元年間（1336～40）に峰翁祖一が臨済宗に改宗し再興する。戦国期には田原城主戸田氏、駿河今川氏の庇護を受け、繁栄する。古文書の他にも明応4年（1495）の銘をもつ豊橋市内最古の銅鐘など多くの文化財を所蔵。『豊橋市史 第五巻』参照。 ●県史収集分のみを掲載しており、箱番01は中世史部会、織豊部会調査分、箱番02は近世史部会調査分。箱番02については豊橋市美術博物館所蔵の紙焼をデジタル撮影で収集した。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、太平寺へお問い合わせ下さい。

B700008-001 豊橋市普門寺文書 56

●豊橋市雲谷町の船形山普門寺が所蔵する資料。普門寺は神亀4年（727）に行基によって開かれたと伝える。寺伝では源頼朝の叔父とされる化積上人により中興され、頼朝からも寺領を寄進されたという。文献史料では12世紀からの動向が明らかとなる。仁治3年（1242）には山麓の雲谷・岩崎を中心とする広大な寺領の四至が確認されている。三河・遠江の境に位置することから、戦国期には戦火により全山焼失するも、今川義元・氏真、徳川家康らにより寺領安堵、復興が進められ、慶長8年（1603）、雲谷村内に朱印地100石が与えられた。17世紀後半に仁王門・本堂などの造営が行われ基本的寺観が整えられた。 ●愛知県史では戦国・織豊期の文書、縁起などを中心に調査。ほかに徳川將軍家の朱印状写等を所蔵。『豊橋市埋蔵文化財調査報告書第141集 普門寺旧境内一総合調査編一』等参照。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、普門寺へお問い合わせ下さい。

資料群コード 資料群名 点数

詳細1

B700009-001 豊橋市宝林寺文書 6

●宝林寺は応永3年（1396）、一乾徳公座元により開創されたと伝える。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

B710004-001 豊川市財賀寺文書 19

●豊川市財賀町の陀羅尼山財賀寺が所蔵する資料。財賀寺は神亀1年（724）に行基により開創と伝える。岡崎市瀧山寺に伝わる中世前期成立の『瀧山寺縁起』の中に、瀧山寺本堂再建の落成供養の請僧として財賀寺大音坊が記されている。戦国期には今川氏により牛久保領などでの白山先達職が安堵されている。慶長8年（1603）には徳川家康から約160石の寺領安堵を受ける。古文書のほかにも建造物、仏像など多くの文化財を有し、仁王門は国重要文化財指定を受けている。愛知県史では、戦国・織豊期の今川氏の判物、天正18年（1590）の検地帳写、「古記」とされる冊子などを収集した。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号のA～Eは「財賀寺古文書目録」（豊川市作成）によった。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、財賀寺へお問い合わせ下さい。

B711002-001 豊川市小林家文書 7

●戦国期の徳川家康定書、江戸期の松平季綱書状等。『新編豊川市史 第五巻 資料編 原始・古代・中世』に一部収録。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

B711007-001 豊川市進雄神社文書 33

●奥書に甲斐国南宮大明神に施入などの記載をもつ大般若経。豊川市指定文化財。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

資料群コード 資料群名 点数

詳細1

B713002-001 豊川市御津神社文書 119

●豊川市御津町の御津神社が所蔵する資料。大般若経は112巻が現存。書写の時期は①永和1～5年（1375～79）富賀寺、②応永16年（1409）今橋悟真寺、③同29年延命寺、に大きく分けられる。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

B730005-001 新城市普賢院文書 199

●新城市布里の洞澤山普賢院が所蔵する大般若経。永徳3年（1383）から書写され、天正2年（1574）には普賢院にあったことが確認できる。全600巻のうち、巻1～巻100、巻201～巻300を所蔵。巻200番台にみられる「三州布里之内」の識語は施入の際か転読の際かは不明。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

B730009-001 新城市原家文書 65

●豊川沿いの旧八名郡一鍬田（ひとくわだ）村で河岸問屋を営んだ原家に伝来した資料。同家は一鍬田村の庄屋を務めたほか、同村海倉河岸で問屋を営み、新城・吉田、さらには遠州三ヶ日方面との荷物搬送も手がけた。 ●愛知県史では、川岸場関係の資料を中心に収集している。 ●目録が『一鍬田原家古文書（一鍬田文書三）』（『新城市古文書目録』11）として刊行されている。掲載目録は県史収集分のみ。目録の情報は同目録に基づいているが、一部修正・補記し、細目録を作成している。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

資料群コード 資料群名 点数

詳細1

B740004-001 田原市長興寺文書 16

●田原市大久保町の雲龍山長興寺が所蔵する資料。長興寺は寺伝によれば、建治1年（1275）に後深草上皇の発願により、大覚寺という天台宗の寺院として創建されたという。その後臨済宗に改宗するが、室町時代に入ると戦乱の影響で廃寺同然まで衰微した。文明13年（1481）、曹洞宗に改宗し、田原城主戸田宗光の寺領寄進を受け、寺号を長興寺と改称し再興する。天文年間（1532～55）に戸田氏が今川勢に滅ぼされると寺領の大半を失うが、その後、今川方田原城代朝比奈氏、今川氏真、徳川家康からの寄進・庇護を受け、江戸期には朱印地100石を与えられる。寺内には田原藩2代藩主までの田原戸田氏の墓所がある。戸田宗光寄進状、今川義元朱印状等を所蔵。愛知県史では戦国・織豊期、江戸初期の文書、戸田氏の系図などを収集した。『龍雲山長興寺所蔵文書目録』参照。請求番号は同目録による。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

B740006-001 田原市伝法寺文書 26

●田原市神戸町の舜田山伝法寺が所蔵する資料。伝法寺は寺伝によれば寛正2年（1461）に明堂周賢を開基として創建され、その後、天文4年（1535）、天庵周棟を中興開山として再興された。今川義元、松平元康や在地の百姓の寄進状などを所蔵。愛知県史では戦国・織豊期を中心に一部江戸初期の資料を収集した。『田原町史』参照。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

B740009-001 田原市龍門寺文書 4

●龍門寺は永正15年（1518）の開山と伝える。今川義元、伊奈忠次の寺領安堵状等。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●複写不可。資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

資料群コード 資料群名 点数

詳細1

B742001-002 田原市渥美郷土資料館蔵宇津江区有文書 836

●旧渥美郡宇津江村に伝来した文書。同村は渥美半島西部に位置し、北は三河湾に面する。はじめ幕領、寛永4年（1627）豊後日田藩領、同10年幕領、寛文4年（1664）幕府と田原藩の相給、天和1年（1681）志摩鳥羽藩と田原藩の相給、享保10年（1725）幕府と田原藩の相給、安永1年（1772）遠江相良藩と田原藩の相給、天明2年（1782）上総大多喜藩と田原藩の相給、同5年旗本諏訪家と田原藩の相給と、支配領主はめまぐるしく交替した。村高は「元禄郷帳」99石余、「天保郷帳」118石余。天明6年で家数47軒、人数189人。『渥美町史』の調査によると、資料点数は3300点余。近世資料は大部分が寛永7年から幕末に至る本田・新田の年貢関係の資料である。ほかに慶長検地帳写、伊川津村との黒部石網掛場や入会海面の漁場論争、海難に際して出された置手形などがある。なお本資料群には、名主を務めた榊原家の文書を含む。宇津江村の詳細は『渥美町史』歴史編上巻参照。資料の一部は『渥美町史』資料編に掲載されている。●目録は県史収集分のみを掲載している。『渥美町史』資料目録編、『渥美町史』資料編下巻に目録の一部が掲載されており、その目録をもとにしているが、一部修正・補記し、細目録を作成している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、田原市教育委員会の許諾が必要となります。手続き方法については、同教育委員会へお問い合わせ下さい。

B751002-001 渡辺俊也氏所蔵文書 6

●信州金堀に関する織田信長朱印状、設楽郡徳貞郷に関する武田勝頼制札等。●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

B760002-001 梅田倫子氏所蔵文書 1

●設楽郡月村のうち尾籠村分のみでまとめられた検地帳。尾籠・はなた・のき・おさき等の地名がみられる。月村全域の名寄帳が別に現存する（月区所蔵）。『東栄町誌 近世文書編』参照。●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

資料群コード	資料群名	点数
--------	------	----

詳細1

B770002-001	榊原清氏所蔵文書	1
-------------	----------	---

●豊根村三沢山内の花太夫、榊原家に伝来する文書。収集した『御神楽日記』は、大神楽という花祭りの前身で母胎となったといわれる神楽芸能に関する最古の記録。『特別展 奥三河のくらしと花祭・田楽』参照。 ●県史収集分のみを掲載している。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。 ●資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。

B922003-001	水産研究・教育機構図書資料館所蔵資料	79
-------------	--------------------	----

●水産研究・教育機構（旧中央水産研究所）図書資料館が所蔵する資料。県史では渋沢敬三氏から寄贈された図書資料である祭魚洞文庫の資料を中心に、本県関係資料を収集している。県史収集資料の目録の情報は、旧水産庁水産資料館から刊行された『水産庁水産資料館所蔵資料目録』によっており、請求番号は同目録の請求番号としている。なお、同一請求番号の資料が複数ある場合は（ ）内に枝番号を付した。県史収集分のみを掲載している。 ●学術目的に限り複写可。資料を刊行物やWeb上に掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配布する場合には、水産研究・教育機構図書資料館の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせ下さい。